

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔寝具乾燥等事業〕									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護 課 高齢福祉					係	課長名		伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 以下の2つの条件を満たす者 ・市内在住の65歳以上の在宅高齢者で、寝具を衛生的に管理することが困難である者 ・ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯で寝たきりの状態またはこれに準ずる者					→		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 潜在的な利用希望者数を把握することは困難である。			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 身体的な理由等で寝具の自然乾燥ができない高齢者の衛生と健康を保持し、福祉の増進を図る。					→		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数(方法は集配によるものとし、乾燥は1人につき月1回、水洗いは1人につき年2回)			
	③ そのために何をしましたか。 身体的な理由で日常生活に支障を有する高齢者に対し、寝具の乾燥や水洗いを実施する。高齢者の身体状況は、高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)の職員が訪問調査や申請代行を実施し、市が決定する。					→		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ②と同様			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明					
	成果指標	②の数値	人	36	31	21					
	目 標	②の目標値				31		21		21	
目標値設定の考え方 高齢者世帯への日常(在宅)生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。											
	活動指標	③の数値	人	36	31	21					
3 経費	事業費(実績)		円	893,862	705,024	501,984		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	893,862	705,024	501,984					
		特定財源	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	2,544,462	2,353,824	2,163,984						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和55年度										
	(2) 環境の変化 昭和55年4月1日開始。当時、高齢者人口の増加に伴い、在宅介護サービスの拡充が求められていたことを背景に開始された。申請数は近年伸びていないが、高齢化の進展及び核家族化の中で、一定のニーズがある。										

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔寝具乾燥等事業〕				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 要綱の規定上、支給対象者の介護度や所得の制限はないが、「身体的理由等」「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯等」の状態にあることが規定されており、基本的には、一定の支援を要する者に限定される。ただ、清潔な寝具が毎日の快適な生活に欠かせないことから、寝具を衛生的に管理できない高齢者にとっては切実に必要な事業である。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 市報に掲載した				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 潜在的なニーズはあると思われるため、そういった方への周知が必要と思われる				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市報等による市民への周知 関係機関への情報提供				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	障害福祉課でも同様の事業を実施しており、同課との調整が必要				